



株主の皆様へ

# 第43期 株主通信

平成18年1月1日 ▶ 平成18年12月31日



タチカワグループ

富士変速機株式会社

証券コード：6295



## 株主の皆様へ



代表取締役社長

**中島 寿和**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わりまことにありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成18年12月31日をもって第43期（平成18年1月1日から平成18年12月31日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成19年3月

### — 企業理念 —

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

## 目 次

ごあいさつ・目次	1
トピックス	2
事業の概況 (会社の事業の経過および成果)	3
(対処すべき課題)	5
(事業部門別売上高)	6
財務諸表 (貸借対照表)	7
(損益計算書)	8
(株主資本等変動計算書)	9
(キャッシュ・フロー計算書)	10
製品紹介	11
株式の状況	12
会社の概要 (取締役および監査役)	13
株主メモ	14

### 各種展示会への出展

当社「ギヤードモータ」をより多くのお客様に知っていただくたく、大規模な展示会へ出展いたしました。

展示会名	会場	開催期間
TACT2006 ダイドーFA未来展	ポートメッセなごや	4/6~4/8
ME X金沢2006 第44回機械工業見本市金沢	石川産業展示館	5/18~5/20
第10回機械要素技術展	東京ビックサイト	6/21~6/23
第9回関西機械要素技術展	インテックス大阪	10/11~10/13



### 「ウェルポート・パズルタワー」の開発 (車いす対応 バリアフリーの駐車場)

当社が独自に開発した「くし歯」方式で、省電力・省資源・低コストを実現した立体駐車場「パズルタワー」をベースに、車いすのお客様が快適に安心してご使用していただける立体駐車場を新たに開発いたしました。(4月発売)



### 内部統制システム構築の 基本方針を策定

昨年5月に施行された会社法に基づき、取締役会において「内部統制システム構築の基本方針」を決議いたしました。当社は、事業活動を行うにあたり、法令および企業倫理の遵守をコンプライアンスの基礎とし、「企業行動憲章」「倫理行動指針」「行動規範」を制定し、社内周知を図るとともに、コーポレート・ガバナンスの充実に取組んでおります。

今後もこの基本方針に基づき、業務の適正を確保するための体制整備に努めてまいります。

# General condition of business

## 事業の概況

※当期から連結子会社がなくなり非連結決算へ移行しているため、連結財務諸表は作成しておりません。  
このため、「事業の概況」については、当社個別の概況を記載しております。

### 会社の事業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、長期化する原油や原材料価格の高騰、ゼロ金利政策解除による金利上昇懸念など不安要因を抱えながらも、好調な企業業績を背景に民間設備投資は増加し、雇用情勢や所得環境にも改善の動きが広がり、個人消費も底固く推移するなど、緩やかな回復基調を維持いたしました。

当社関連の減速機業界においては、企業の旺盛な設備投資や生産活動の伸びに支えられ、産業機械関連を中心に需要環境は堅調に推移いたしました。また、立体駐車場業界においては、設備更新案件は増加傾向にあるものの公共投資は総じて減少傾向であり、依然として競合各社の価格競争や鋼材等の主要原材料価格の高止まりなど厳しい状況ではありましたが、機械式駐車場の市況回復により受注環境に改善の兆しが見え始めました。

このような環境のもと、減速機関連事業においては、顧客要求に応えられる独自の製品開発力と事業領域を絞り込んだ営業活動の展開で得意分野における差別化を進め、新規顧客開拓と顧客深耕化を図り、シェア拡大と売上向上に努めてまいりました。また、駐車場装置関連事業においては、引続き採算性を重視した受注案件の選択と集中を徹底し、経営資源の最適配置による収益基盤の構築に取り組むとともに、積極的な提案型営業を推進し、競争力の強化と受注確保に注力してまいりました。このほか、室内外装品関連事業においては、新シリーズ投入による製品ラインナップの充実を図り、品質の安定と生産性の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期における売上高は6,326百万円（前期比12.0%増）と増収となりました。損益面につきましては、原材料価格の高騰による製造コスト上昇基調が続き、これを販売価格に転嫁できない厳しい経営環境ではあったものの、駐車場装置関連事業における収益性が選別受注活動の徹底や事業再構築の効果により大幅に改善したことで、営業利益は130百万円（前期比25.5%増）となりました。経常利益は子会社配当金の減少などにより162百万円（前期比16.4%減）、当期純利益は81百万円（前期比22.5%減）となりました。

## 減速機関連事業

高まる高性能化のなか、お客様のニーズに応えるため、標準品であるギヤードモータ「VC series」に中空軸タイプを新たに加え機種拡大したほか、お客様の理想を形にし、あらゆるニーズに応えるオリジナルの製品開発と展示会出展の実施など販促活動の強化により、産業機械向け販売を中心に積極的な営業活動を展開しましたが、売上高は3,245百万円（前期比0.9%減）と減収となりました。営業利益につきましては、コスト低減に努めましたが、原材料価格の上昇分を十分に吸収できず61百万円となりました。



## 駐車場装置関連事業



厳しい受注環境ではありましたが、主力製品であるパズルタワーの新規完工ならびに既存納入設備の改造工事等が増加したこと、また、昨年子会社から移管を受けた保守点検収入が寄与し、売上高は2,375百万円（前期比23.0%増）と増収となりました。営業利益につきましては、低価格化の流れが続くなか、選別受注活動の徹底と継続した事業収益力の強化により採算性が向上した結果、85百万円となりました。

## 室内外装品関連事業

新たに投入した「スライディングドア66シリーズ」が順調に推移するなど、売上高は704百万円（前期比59.4%増）と大幅な増収となりました。しかしながら、営業損益につきましては、シリーズ増加に対応した生産体制の再構築や生産性の向上に取り組んでまいりましたが、立ち上げに伴う製造工程でのコスト増加と原材料価格の上昇が重なったことで16百万円の損失となりました。



### 対処すべき課題

今後のわが国経済の見通しといたしましては、堅調な企業業績や設備投資の増加に加え、雇用情勢や所得環境にも改善が見込まれるなど、国内民間需要に支えられた回復基調が持続するものと思われま。しかしながら、原油価格動向や金利上昇懸念など先行き不透明な材料もあり、当社関連業界におきましても、低価格化製品へのシフトや原材料価格の高止まりなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われま。

このような環境のもと、当社といたしましては、市場環境を的確に捉えた攻めの事業戦略を展開し、顧客要求に応えられる品質と価格の提供を重視したものづくりを行い、競争力の強化と事業価値の向上に取り組んでまいりま。また、生産活動における環境負荷低減に取り組むため、ISO14001認証取得を目指し、あらゆる面での環境保全に取り組んでまいりま。このほか、業務プロセスの改善を通じて、付加価値の高い業務へ移行し、間接部門のコスト最適化を図るとともに、コーポレート・ガバナンス体制の有効性を評価し、その体制強化を進めてまいりま。

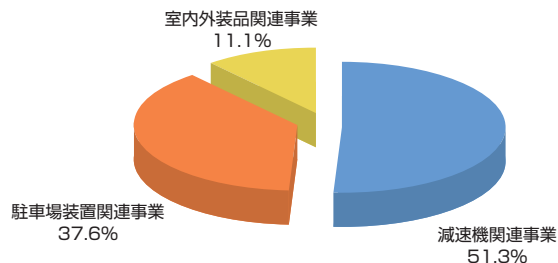
減速機関連事業では、お客様の高機能化のニーズに適合した設計・技術開発力を強化し、お客様オリジナルの製品開発や他社との差別化による積極的な提案型営業を展開するとともに、一部販売価格の適正化を図り、顧客満足と売上向上に努めてまいりま。駐車場装置関連事業では、収益性重視のもと、主力製品であるパズルタワーを中心に選別受注活動を継続し、安定した受注確保を着実に進めてまいりま。また、違法駐車対策に伴う収容台数の増加やバリアフリーならびに高層化の要求に対応した機械装置を積極的に市場投入してまいりま。室内外装品関連事業では、受注量の増加や資材調達価格の変動に対応した効率的な生産体制を確立し、原価低減と生産性の向上により、早期に収益改善を実施してまいりま。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申しあげま。

## 事業部門別売上高

事業部門	主要製品	第42期 (平成17年12月期)		第43期 (平成18年12月期)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
減速機関連事業	汎用減速機(ギヤードモータ) 特殊減速機 シャッタ用駆動装置 ジェットセイバー	千円 3,274,209	% 58.0	千円 3,245,567	% 51.3	% △ 0.9
駐車場装置関連事業	パズルタワー スーパーパズルGS パズルパーキング パズルタワーミニ10 ペアパーク	1,931,252	34.2	2,375,926	37.6	23.0
室内外装品関連事業	可動間仕切 (スライディングドア)	442,002	7.8	704,523	11.1	59.4
合計		5,647,464	100.0	6,326,017	100.0	12.0

## 部門別構成比 (第43期)



### 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別 当 期 平成18年12月31日	前 期 平成17年12月31日
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,467,082</b>	<b>6,397,173</b>
現金及び預金	2,478,833	2,730,104
受取手形	756,941	658,002
売掛金	521,613	507,354
完成工事未収入金	352,237	295,641
たな卸資産	1,300,943	1,209,543
未収入金	893,946	847,530
その他	170,481	156,313
貸倒引当金	△ 7,914	△ 7,316
<b>固定資産</b>	<b>4,402,524</b>	<b>4,646,760</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,043,798</b>	<b>3,073,559</b>
建物	972,853	1,029,374
機械及び装置	396,485	317,880
土地	1,557,896	1,557,054
その他	105,152	107,960
建設仮勘定	11,410	61,290
<b>無形固定資産</b>	<b>31,971</b>	<b>37,804</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,326,753</b>	<b>1,535,396</b>
投資有価証券	773,645	897,520
長期貸付金	387,000	479,000
その他	171,569	168,781
貸倒引当金	△ 5,461	△ 9,904
<b>資産合計</b>	<b>10,869,606</b>	<b>11,043,934</b>

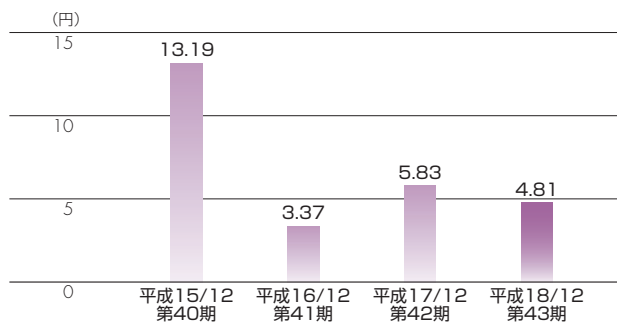
科 目	期 別 当 期 平成18年12月31日	前 期 平成17年12月31日
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,298,296</b>	<b>1,342,364</b>
支払手形	638,128	591,456
買掛金	293,428	308,874
工事未払金	84,794	195,108
未払法人税等	72,116	39,909
引当金	40,528	24,742
その他	169,299	182,272
<b>固定負債</b>	<b>280,220</b>	<b>326,164</b>
繰越税金負債	—	41,809
退職給付引当金	250,347	259,213
役員退職慰労引当金	25,844	21,112
その他	4,028	4,028
<b>負債合計</b>	<b>1,578,516</b>	<b>1,668,529</b>
<b>(資本の部)</b>		
<b>資本金</b>	<b>—</b>	<b>2,507,500</b>
資本剰余金	—	3,896,950
利益剰余金	—	2,926,062
その他有価証券評価差額金	—	242,021
自己株式	—	△ 197,128
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>9,375,405</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>—</b>	<b>11,043,934</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>9,123,690</b>	<b>—</b>
資本金	2,507,500	—
資本剰余金	3,896,950	—
利益剰余金	2,916,475	—
自己株式	△ 197,235	—
評価・換算差額等	167,400	—
その他有価証券評価差額金	167,400	—
<b>純資産合計</b>	<b>9,291,090</b>	<b>—</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>10,869,606</b>	<b>—</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

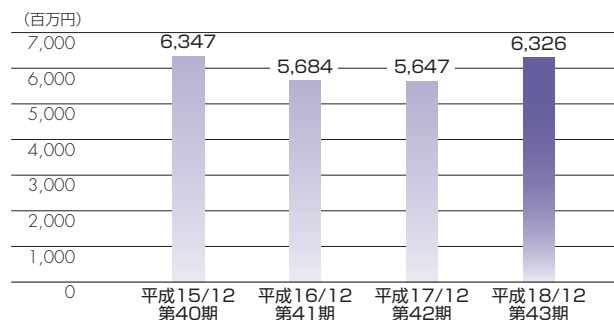
科 目	期 別	
	当 期 平成18年1月1日から 平成18年12月31日まで	前 期 平成17年1月1日から 平成17年12月31日まで
売上高	6,326,017	5,647,464
売上原価	5,464,262	4,813,135
売上総利益	861,754	834,329
販売費及び一般管理費	731,326	730,443
営業利益	130,428	103,886
営業外収益	43,005	105,831
営業外費用	11,409	15,859
経常利益	162,024	193,858
特別利益	1,354	12,022
特別損失	3,290	19,915
税引前当期純利益	160,088	185,965
法人税、住民税及び事業税	82,257	43,948
法人税等調整額	△ 3,562	36,984
当期純利益	81,393	105,032
前期繰越利益	—	168,989
中間配当額	—	42,296
当期末処分利益	—	231,724

### 1株当たり当期純利益

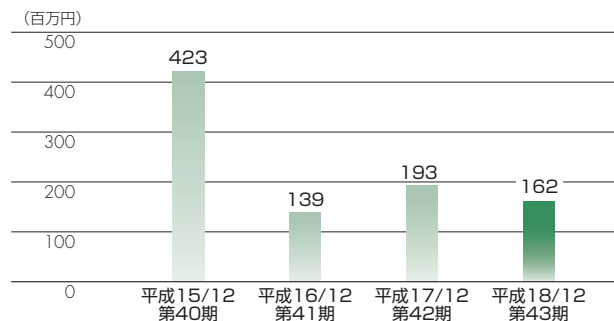


## 業績の推移

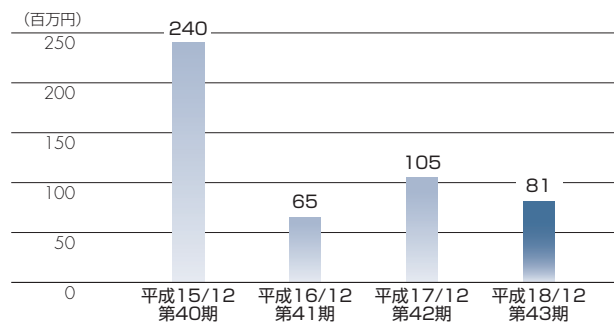
### 売上高



### 経常利益



### 当期純利益



# Financial Data

## 財務諸表

### 株主資本等変動計算書（平成18年1月1日から平成18年12月31日まで）

(単位：千円)

項目	株主資本								株主資本計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
平成17年12月31日残高	2,507,500	3,896,950	3,896,950	244,337	2,450,000	231,724	2,926,062	△ 197,128	9,133,383
当事業年度中の変動額									
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△ 84,590	△ 84,590	—	△ 84,590
役員賞与金	—	—	—	—	—	△ 6,390	△ 6,390	—	△ 6,390
当期純利益	—	—	—	—	—	81,393	81,393	—	81,393
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△ 106	△ 106
当事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 9,587	△ 9,587	△ 106	△ 9,693
平成18年12月31日残高	2,507,500	3,896,950	3,896,950	244,337	2,450,000	222,137	2,916,475	△ 197,235	9,123,690

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成17年12月31日残高	242,021	242,021	9,375,405
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	△ 84,590
役員賞与金	—	—	△ 6,390
当期純利益	—	—	81,393
自己株式の取得	—	—	△ 106
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)	△ 74,621	△ 74,621	△ 74,621
当事業年度中の変動額合計	△ 74,621	△ 74,621	△ 84,315
平成18年12月31日残高	167,400	167,400	9,291,090

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当 期	
		平成18年1月1日から 平成18年12月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー		△	85,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		△	81,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		△	84,610
現金及び現金同等物の減少額		△	251,271
現金及び現金同等物の期首残高			2,730,104
現金及び現金同等物の期末残高			2,478,833

※前期は、連結キャッシュ・フロー計算書を作成しているため、当期に係るキャッシュ・フロー計算書のみを記載しております。

## (ご参考)

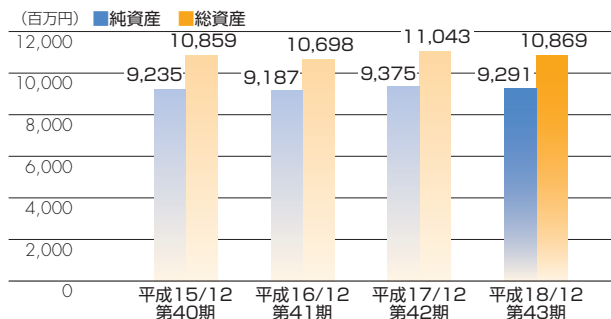
### ■ 1株当たり純資産額

当 期 (第43期)	前 期 (第42期)
549円19銭	553円78銭

### ■ 1株当たり配当額

	当 期 (第43期)	前 期 (第42期)
中 間	2円50銭	2円50銭
期 末	2円50銭	2円50銭

### 純資産・総資産



# Products

## 製品紹介

お客様の理想を形にします（あらゆるニーズにお答えします）

### 【ギヤードモータ】

標準品の平行軸VX Series／直交軸VC Seriesは、さまざまなアレンジメニューをご用意いたしております。

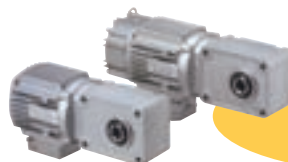
ギヤードモータ

**VX Series** 平行軸  
0.1kw ▶ 7.5kw  
●減速比 1/5～1/1200



ギヤードモータ

**VC Series** 直交軸  
0.1kw ▶ 2.2kw  
●減速比 1/7～1/240



1.5kw～2.2kw  
新バリエーション発売

### 地震に強い『パズルタワー』

当社が独自に開発した「くし歯」方式の立体駐車場「パズルタワー」はハイスピード・低騒音・低振動・省エネ性能に加え、耐震性能にも優れています。

地震の多い日本だからこそ、耐震への配慮は欠かせません。  
『落下しない（おちません）』を基本に大切な愛車をお守りします。



（パズルタワーの）各層は横行ローラが支持された設計で地震の縦揺れに対しても各車室トレイが外れて落下する心配はありません。



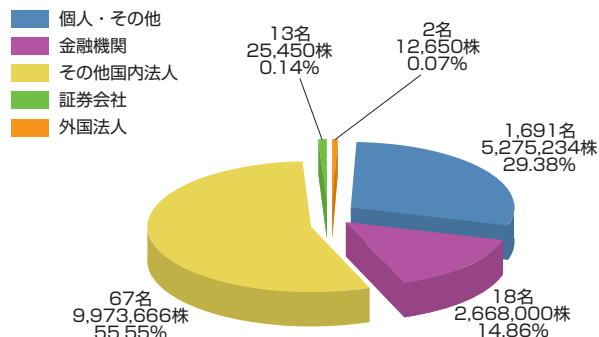
# Stock Information

株式の状況 (平成18年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
1単元の株式の数	100株
株主数	1,791名

## 株式の所有者別分布状況

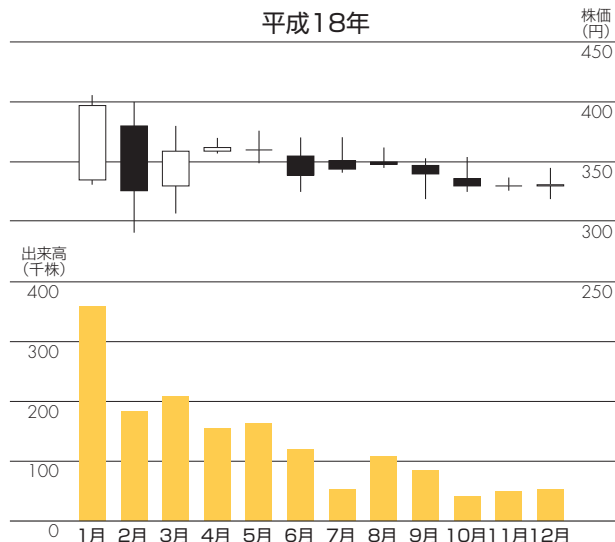


## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 千株	議決権比率 %
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.58
富士変速機取引先持株会	941	5.57
株式会社愛知銀行	526	3.11
岐阜信用金庫	437	2.58
富士変速機従業員持株会	337	1.99
株式会社十六銀行	334	1.97
株式会社みずほコーポレート銀行	221	1.31
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	216	1.28
中央三井信託銀行株式会社	171	1.01
株式会社市川工務店	163	0.96

- (注) 1. 当社は、自己株式1,037千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記大株主から除いております。  
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

## 株価および出来高の推移



# General condition of company

会社の概要 (平成18年12月31日現在)

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO., LTD.
創業	昭和22年4月
設立	昭和40年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-17) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-17) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
従業員数	178名 (男性171名 女性7名)

## 主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18番地 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東日本営業部	東京都渋谷区代々木2-16-4 電話 (03) 3370-6359 (代表)

## 取締役及び監査役

代表取締役社長	中島寿和
取締役	清水正作
取締役	五十里英弘
取締役	小島俊彦
取締役	堀居克次
取締役	足立高則
取締役	國米利政
常勤監査役	西澤義治
監査役	島田寿男
監査役	志賀宏昭
監査役	山本浩司

- (注) 1. 取締役の國米利政氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役の島田寿男、志賀宏昭、山本浩司の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

# Shareholder Information

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の 期末配当基準日	12月31日
剰余金の 中間配当基準日	6月30日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <a href="http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/">http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/</a>
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（〒460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 フリーダイヤル0120-78-2031
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	100株
単元未満株式の 買取または買増 請求受付場所	株主名簿管理人の事務取扱場所および同取次所にてお取扱いいたします。

## お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人の「フリーダイヤル0120-87-2031」で24時間受付しております。

 タチカワブラインドグループ  
**富士変速機株式会社**  
<http://www.fujihensokuki.co.jp>

**R100**  
古紙配合率100%再生紙

 PRINTED WITH  
**SOY INK**  
環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています。